

医療生命薬学助成（プロジェクト提案型研究）

【平成 29 年度医療生命薬学助成】

<新規>

研究代表者：松村実生（医療生命薬学研究ユニット）

研究課題：新奇な 15 族元素を含む複素環化合物の創薬リードとしての可能性探索（横断型）

助成決定金額：30 万円

研究代表者：平居貴生（医療生命薬学研究ユニット）

研究課題：脂肪組織における時計遺伝子 Nfil3 の新規生物作用の解明と時計遺伝子を標的とする創薬に向けた基盤研究（個人研究）

助成決定金額：50 万円

研究代表者：兒玉大介（医療生命薬学研究ユニット）

研究課題：神経障害性疼痛モデルマウスにおける骨代謝への影響（個人研究）

助成決定金額：40 万円

研究代表者：村田裕基（医療生命薬学研究ユニット）

研究課題：15 族元素試薬を利用した 2-アミノベンゾオキサゾールの簡便合成法の開発（個人研究）

助成決定金額：40 万円

研究代表者：波多野紀行（高等教育研究ユニット）

研究課題名：新モデル・コアカリキュラムに対応するために導入した新カリキュラムの有効性の検討（連携型）

助成決定金額：10 万円

<継続>

研究代表者：中島健一（医療生命薬学研究ユニット）

研究課題：植物内生菌を中心とした真菌エキスライブラリの整備と各種炎症疾患治療薬候補化合物の探索（横断型）

助成決定金額：60 万円

研究代表者：小川法子（医療生命薬学研究ユニット）

研究課題：シクロデキストリン類を用いた抗悪性腫瘍薬の物制御と固形製剤化（横断型）

助成決定金額：40 万円

【医療生命薬学研究所主催のシンポジウム：平成 28 年度】

平成28年度第5回サイエンスフォーラム

日時：平成29年3月8日（水）9時30分～17時20分

場所：愛知学院大学 楠元キャンパス（薬学部棟 2階203講義室）

プログラム概要

【第一部】

シンポジウム『生命科学と物質科学に挑むケミストリー』

9：35～11：15 座長：安池 修之

1. 電子構造解析に基づく機能性 π 電子系化合物の開発
村中 厚哉（理化学研究所）
2. “部品の組み立て法”による生理活性分子の創出
大神田 淳子（信州大学学術研究院農学系）

11：15～12：15〔特別講演〕

3. 光・電子機能性分子の物性追求により拓く未来
山口 茂弘（名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所）

【第二部】

平成 28 年度研究助成 研究成果発表 I〔単年度型研究〕

13：30～15：00 座長：河村 好章

1. カドミウム長期曝露による鉄輸送関連因子の発現および肝臓中铁濃度の変動〔個人型課題〕
徳本 真紀（医療生命薬学研究ユニット）
2. 新奇なヘテロアセン化合物の一般合成法開発と物性解明〔個人型課題〕
松村 実生（医療生命薬学研究ユニット）
3. 成績データ解析結果を基盤とする改善策の有効性の検証〔連携型課題〕
波多野 紀行（高等教育研究ユニット）

平成 28 年度研究助成 研究成果発表 II〔継続型研究〕

15：15～16：15 座長：村木 克彦

4. 植物内生菌を中心とした真菌エキスライブラリの整備と各種炎症疾患治療薬候補化合物の探索〔横断型課題 1 年目〕
中島 健一（医療生命薬学研究ユニット）
5. 前立腺がん細胞におけるアスパラギン合成酵素タンパク質の発現制御を基盤とした増殖能や転移能の抑制効果について〔横断型課題 1 年目〕
鬼頭 敏幸（医療生命薬学研究ユニット）

16：15～17：15 座長：櫛 彰

6. シクロデキストリン類を用いた抗悪性腫瘍薬の物制御と固形製剤化〔横断型課題 1 年目〕
小川 法子（医療生命薬学研究ユニット）

7. アンチモンやビスマスを中心とする有機-無機ハイブリッド分子の抗腫瘍活性〔横断型課題終了年度〕
安池 修之（医療生命薬学研究ユニット）